



日本維新の会 通信



神戸市会議員団

発行元

日本維新の会 神戸市会議員団

650-8570

神戸市中央区加納町6丁目5番1号 1号館29階

TEL: 078-322-0185

FAX: 078-322-0184

http://www.kobe-ishin.jp

メールアドレス: info@kobe-ishin.jp

向春の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年度、神戸市会においては、自民党系議員による政務活動費の詐欺事件が発生し、4名もの議員辞職者を出しました。

一日も早い信頼回復に努めているところですが、一方で昨年度も議員の期末手当増額議案が、自民党、公明党、民進こうべ、無所属(松本周二議員)の賛成多数で可決され、3年連続でのボーナスアップとなってしまいました。もちろん我が会派は、自らの報酬を上げるよりもまずは、神戸市会の信頼回復に努める方が先ではないか、という理由で反対いたしました。

そして、増額分はこれまで通り全て被災地等に寄付させていただきました。

今年度も皆様の信頼にお応えするために、神戸市の抱える諸問題に是々非々の立場で臨み、神戸市発展のため頑張っていく所存でございます。引き続き、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



外海 開三 住本 かずのり 山本のりかず 高橋 としえ

■企業建設委員会 ■経済港湾委員会 ■文教子ども委員会 ■福祉環境委員会

当選議員紹介

中央区



三木 しんじろう

■都市防災委員会

この度、平成29年度 神戸市会議員補欠選挙にて、10,658票いただきまして中央区から当選することができました、三木しんじろうでございます。神戸市の為にそして神戸市民の皆さまにとって、住みよい街づくり、神戸市の人口の流出を止め、神戸に移り住んでいただけるよう、魅力ある街・神戸の活気を復活させる為に邁進して参りたいと思っております。「わたしたちのまち、神戸のために」をスローガンにし、今後とも、皆さまの御支援、御意見をお聞かせいただき市政に反映させていきたいと考えております。是非、街中でお声がけしていただければと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

西区



黒田 武志

■総務財政委員会

西区選出の黒田武志でございます。昨年10月の神戸市会議員補欠選挙において、13,346票の信託をいただき、市会議員としての職をスタートさせることができました。皆さまからのありがたいお声を頂戴し、日々、市政に邁進しております。神戸の魅力を高め、西区、神戸に住んで良かったと心から誇れる街にするため、広く市民の皆様のご意見をお聞きし、様々な取り組みを進めてまいりたいと思っております。皆様のご期待に応えることができるよう、1年生議員らしく精進してまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

議員の期末手当増額議案に「反対」いたしました。

「身を切る改革」実行中!

12月議会において、市会議員期末手当増額議案が議員提案されました。我が会派は今年度の神戸市会で発覚した政務活動費の詐欺事件を受け、この時期の期末手当増額は市民の理解が得られないものとして、反対討論を行いました。

宮城県 石巻市 学校への備品や図書の寄付

今回の寄付先は、東北大震災で最も被害の大きかった石巻市に寄付いたしました。石巻市の中心市街地は全域が浸水し、小・中学校の5校に1校が地震・津波で大きな被害を受けました。寄付金は、損壊した学校施設の復旧費用や机・本などの学校に配備する備品の購入費用に活用していただきます。



石巻市 学校への
備品図書の寄付金
711,376円

感謝状をいただきました

〈過去の寄付先〉

H28. 4.22	熊本市熊本地震災害義援金	309,670円
H28. 6.30	熊本市熊本地震災害義援金	193,545円
H28.12.12	熊本城災害復旧支援金	180,625円
H28.12.12	熊本市熊本地震災害義援金	400,000円
H29. 7.10	九州北部豪雨災害義援金	386,221円

合計寄付額 2,181,437円

政務活動費に関する再発防止策

自民党系議員による、一連の政務活動費不正流用問題を受けて「政務活動費に関する再発防止策」が※代表者会議で検討されました。全交渉会派が了承した項目が、下記になりますが、日本維新の会 市会議員団は更に3項目を加えた案を提出致しました。

平成28年度 政務活動費
約50%返還いたしました!

6項目に関しては
平成30年2月より
実施されます。

全交渉会派が了承した6項目

- ・納品(印刷)部数確認の実施
- ・支払い(振込)前の事前確認
- ・全閲覧対象書類のインターネット公開
- ・印刷物関連情報の記載強化
- ・振込の原則の徹底
- ・第三者による検査の強化

日本維新の会 市会議員団は、議長あてに下記3項目を付した「政務活動費について提案」を提出いたしました。他交渉会派の了承が得られず今回の実現には至りませんでした。今後も政務活動費についての問題は引き続き提起してまいります。

- ・政務活動費を2割減額すること
- ・政務活動費に伴う領収書は原本を提出すること
- ・市政報告書の1枚当たりの発行単価(デザイン・印刷)およびポストिंग単価などに上限額を設定すること

※代表者会議・・・議長、副議長と交渉会派(5名以上の会派。自民党・公明党・共産党・民進こうべ・日本維新の会)の代表者が出席し、非公開で行う会議。

平成29年度 会派での取り組み



「神戸市退職者人材センターの設置」及び再就職規制の推進

市職員OBの外郭団体の再就職に関し、ガイドラインの早期策定など再三にわたり久元市長に提言して参りました。その結果、平成29年度より「神戸市退職者人材センター」が設置され、再就職に係る業務や再就職規制の推進が行なわれました。これにより、退職者の再就職に関する透明性、公平性を高め、市民の疑念を招く恐れのある利害関係企業等への自粛要請が行なわれます。

民間学童保育の拡充 ～待機児童解消に向けて～

学童保育所に通えない児童数ゼロに向け、民間学童保育の拡充を要請。学童保育について、平成31年度までに対象を小学6年生まで拡大する事としていますが、受け入れ困難な状況が生じている場所には、学童保育の運営事業者を募集し助成を行なう事になりました。中央区は8月より開設しており、須磨 西区は現在施設の整備中です。事業所が決まっていない垂水区は、改めて募集を行う予定です。

認知症徘徊訓練、全市で実施 ～認知症にやさしいまちづくり～

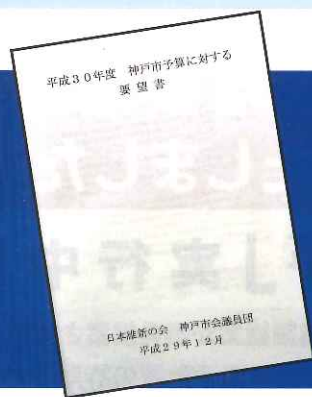
認知症徘徊対策については、徘徊模擬訓練の市全区展開、医療介護サポートセンターの市全区設置、認知症初期集中支援チームの市全区配置など認知症対策を推進していくことになりました。老後も安心して暮らせる街づくりに向けて、引きつづき福祉の充実に関する提案をしていきます。

日本初ソーシャル・インパクト・ボンドを提案し、実現!

超高齢化社会の時代を迎え、神戸市民1人にかかる扶助費が増大しています。そこで、神戸市は糖尿病性腎症重症化予防事業に取り組むことで、患者数や重症化を食い止めることができれば、増大する社会保障費の抑制が見込まれ、市民にとっては医療費削減やQOLの向上につながる事が期待されます。



ソーシャル・インパクト・ボンドとは・・・
これまで行政が実施してきた公共サービスにおける教育や福祉分野について、民間会社等が投資家から資金調達して契約に基づいた成果が達成した場合に、削減された行政コストを投資家に対して利益還元を行う仕組みです。
補足：SIBの導入により、行政側は初期投資を民間資金で賄うことができ、行政の財政的リスクを抑えながら民間の新しい取組を活用できます。



**日本維新の会
神戸市議員団は
平成30年度
神戸市予算に対して
要望書を提出致しました。**

若い力で神戸に向き合う! 「維新」だから、できる。

予算要望書から主なものを下記抜粋いたしました。
なお、地下鉄山手線と阪急電鉄相互乗り入れについては、本会議にて質問いたしました。
今後も市民の皆様のお意見を市政に反映していきます。
皆様の御意見・御要望等をお待ちしております。

福祉

■老人会が行う健康増進のためのスポーツ環境の整備費用負担を行うこと。

⇒須磨区・東灘区老連では、室内運動会を昨年実施しました。これを全市で実施して、健康寿命の延伸や医療費抑制のための高齢者でも参加できるスポーツの機会を増やすことが必要と考えます。



行政

■外郭団体を含む神戸市の調達制度をより透明かつ公正なものとする。特に随意契約の適用や調達の分割については、厳格に運用すること。

⇒まだ、一部の契約で随意契約が見られます。競争入札制度にして、公正に適切な税の使われかたが望まれます。

交通

■市営地下鉄山手線と阪急電鉄相互乗り入れを早期に実現すること。

⇒地下鉄山手線沿線活性化、大阪梅田までの利便性向上のためには、阪急電鉄が西神中央駅まで乗り入れることが必要です。市長も公約に挙げており、我が会派としても早期に実現することを望みます。



子育て

■待機児童解消のため、保育所の設置場所として積極的に都市公園の活用を推進すること。

⇒公園法の改正により、公園内に保育所設置が認められるようになりました。待機児童解消のため積極的にこの制度を活用するべきであると考えます。



暮らし

■市内全域にわたり自転車道路の整備を早急に行うこと。また、レンタル自転車の「コベリン」の利用可能範囲を拡張できるように努める事。(現在は中央区内で実施)

⇒シェアリングエコノミーとしての、バイクシェア(シェア自転車)の普及、促進が全国的に広がっています。神戸市では、一足早くこの事業に参画しており、健康増進、二酸化炭素排出量削減に向けた環境問題も踏まえて推進する必要があります。



教育

■すべての子どもが自主的に読書に取り組むことができるよう学校、家庭、地域、図書館が連携して子どもの読書環境や、子どもの読書活動に関する普及、啓発を図ること。

⇒神戸市は一人当たりの図書冊数が政令市20市中で最下位です。(2016年度東洋経済新報社調べ)

このことより、早期に蔵書数を増やし、教育の現場においては読書習慣を身につける指導が重要だと考えます。そして、子どもの居場所づくりを含めて、読書環境の整備が望まれます。